



～6/29(火) よい歯の表彰・校医の高橋先生の講話～ “歯磨き励行—8020への切符” うれしいことです！6年生31名の表彰

今週の火曜日に、全校朝会にて「よい歯の表彰」を行いました。春に行った歯科検診の結果に基づき、校医の高橋一雄先生に表彰していただきました。本校では、6年間の頑張りの一つとして、卒業学年である6年生が「よい歯の表彰」を受けてきました。これも伝統の一つです。リラックスルームの山川養護教諭に調べてもらったところ、少なくとも昭和39年から続いています！6年生31名を代表して、吉田洋章さんが登壇し、賞状を受け取ってくれました。高橋先生からは、セルフケアの大切さを教えていただきました。以下に全校朝会（表彰）の様子を紹介します。

<学校長より>

今日は、「いちょうの子」の2つめの「めあて」である「健康でたくましい子ども」に関わる全校朝会です。本日は、本校の歯科校医さんである高橋一雄先生にお越しいただいています。高橋先生から、歯の健康に注意して、よい歯を持っている人を表彰していただきます。そして、どうすれば、表彰されたお友達のように、健康なよい歯を保つことができるのかについて、お話をいただきます。昨年は、大人の歯や子どもの歯の本数のことも伺いましたね。「8020」というキーワードにも触れていただきました。今年は、さらに詳しくお話しいただけると思います。今日教えていたくことを実行して、一生使う自分の歯を大事にしてゆきましょう。



<表彰 6年生代表 吉田洋章さん>

<校医の高橋先生より>

皆さんは、「8020運動」というのを知っていますか？

これは、「80歳までに、20本の自分の歯を残しておこう」ということを呼びかける運動です。私たちも生きものですから、いのちを守るためにには、まず何よりも食べ物を食べることが必要です。しかも、健康で元気に生活するためには、自分の歯でしっかりと噛んでおいしく食べることが大事です。しっかりと噛むためには、健康な歯が大切です。歯は一生使う大事な道具ですが、人間の歯は、一生の中で、一度しか生え変わりません。

では、健康な歯は、どうすれば保てるのでしょうか？その一つは、「歯磨きの励行」です。まずは、その習慣をつけてゆきましょう。もう一つは、かかりつけの歯医者さんに歯の様子を見てもらいながら、生涯にわたって歯の健康を守ってゆくことをお勧めします。

